

桐蔭の学び入門

4月11日に「桐蔭の学び入門」が行われました。

文部科学省の研究開発指定を受けて、平成26年度から実施しているキャリア教育のプログラムの一つです。各教科を学ぶことの意義をはじめとして、特別活動やクラブ活動まで、桐蔭で学ぶための心構えや将来への見通しを綴った「桐蔭の学び」冊子をテキストにして、桐蔭での「学び」について考えるオリエンテーションを実施しました。

新入生80名が会議室に集い、これから始まる桐蔭中学校での学びを楽しみにし、頑張ろうとする気持ちが伝わってきました。最初に、「キャリア教育とは」から始まりました。その後、心の在り方次第で物事を前向きにとらえ、精一杯頑張ることができるようになる。それができれば、常に学び、成長し続ける人になれること、キャリア桐の葉の学習を通して、自ら人生を切り拓く力を身につけることができる、などの話がありました。

続いて国語、社会、数学、理科、英語の各教科から、なぜその教科を学ぶのかについてお話がありました。国語では、「柔」、「軟」はどちらも「やわらかい」の意味ですが、「柔」はしなやか、曲げて折れない、ふわふわしているの意味がある。「軟」は芯がなくて手応えがない、ぐにゃぐにゃしているの意味がある。このように一見同じ意味でも、そのことばが持つニュアンスが違う。このようによく考えてみると新しい発見がある、などの話がありました。



生徒の感想 授業を大切にしよう

今日の桐蔭の学び入門で、桐蔭で学ぶ理由が明確にわかり、もっと普段の授業で「これは将来役に立つことなんだ」ということを常に頭に入れて授業を受けようと思いました。授業だけでなく行事や校外活動でも、積極的に取り組んで、まとめたりするなら、もっとわかりやすくまとめていきたいです。

私は桐蔭に通っているだけでは社会で生きていくための力はないと思います。その力をつけるために、一つ一つの授業や活動を大切にしていって、人に必要とされる人財になります。